

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念「地域の人や子供達と交流し自分らしく楽しみを持ってグループホームで暮らす」を掲げて地域の人や子供達と交流を行っている。掲示し周知を図っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣住民の方と顔を合わせた時には積極的に挨拶するようにしている。敷地内で夏休みにはラジオ体操の場所や御神輿の休憩場所に提供している。ラジオ体操の参加は出来ていないが御神輿を見に行く。	てくてくさんと GH の駄菓子販売の交流ができている。職員も一緒に楽しめた。 散歩で近所の方にあいさつするだけでも交流につながるのではないかな。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度より集まったの開催ができ、サービスの実践内容や、現状や行事等を書面にて報告をしている。身体拘束についても話の機会を持っている。家族や地域包括、民生委員、の方に参加していただいている。	民生委員の方が参加されている。参加していただける曜日で設定している。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議録を管理者が直接窓口へ提出。事業所状況を知ってもらうよう努めている。	運営推進会議の議事録の提出は郵送でも可能ではあるが直接窓口を持っていくことであいさつができる事になる。2ヶ月に1回提出している。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束については、法人内で研修を行い、正しい理解に努めている。毎月のカンファレンスや運営推進会議でも報告を行っている。なお玄関の施錠は防犯上終日行っている。センサー対応の方についてはカンファレンスにて話し合いし今後に向けて検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が知らず知らずにならないように定期的に不適切ケアの振り返りや施錠への認識について確認を行っていきたい。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止について、法人内の研修を行うなど、職員個々の意識向上を行っている。身体拘束と合わせて話し合いなどを行なっている。不適切ケアに関してスピーチロック等のヒヤリハットを挙げて振り返りや共有をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアについてのヒヤリハットを個人のことだけではなく報告できるツールとして活用し、互いのケアや対応に注意や意義がむけられるようにしていきたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、法人内で、成年後見制度についての研修をおこない、知識の共有を図っている。過去に利用者の中にも成年後見制度を利用している方がおられ玄関にパンフレットなど置いている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に、十分説明を行い、理解・納得が得られるよう心がけている。疑問点や不安については、お尋ねし、解消できるように努めている。また、介護報酬改定による変更点などもその都度説明し、同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者には、日々、希望や思い、直接的な言動の他、些細な変化から思いをくみ取れる様努め個別支援に繋げている。家族からは面会時、連絡時や計画作成の際にも伺うように努めている。面会時にこちらから不明点や気になること等出来る限り伺うように努めている。玄関にご意見箱を設け、随時ご意見を聴く体制を整えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	頂いたご意見等をしっかり受け止め、事業所内で共有し、その中から問題意識をもって改善へ常に取り組みしていきたい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングを行うと共に、会議や面談を通じて、職員の希望を吸い上げ、上長に報告・相談している。また日頃からできるだけ声を掛け、話をし意見を言ってもらえるように努めている。また、必要に応じて話や面談も行っている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回の力量評価・面談を行うと共に、適切に職員自身を見極める様に努めている。個々に役割を持ってもらう、強みを活かし仕事を任せる等向上心など持てるように努めている。面談だけでなく日ごろより声掛けを行うことで向上心を持って働けるよう心がけている。また、法人内でのキャリアパス研修において、職員の質の向上に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お互いが切磋琢磨できるように声を吸い上げて向上心が持てる環境づくりに努めていきたい。キャリアパス研修に積極的に参加促す。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を設け、個々の力量に応じた研修を受け力量アップにつなげている。また、事業所内で指導や職員の疑問や意見を吸い上げ内外問わず勉強会に繋げている。また、法人内でのキャリアパス研修において、職員の質の向上に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアアップの為の研修があるが人員不足の為参加できていないのが現状である。事業所の勉強会を有効に活用していく。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の他事業所とは会議や研修を通じて相互研鑽の場としている。外部では研修を通じての交流を図り、情報共有や学びの場としている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活やこれからの生活への思いや要望を聞きだすように努めると共に、不安もしっかりと受け止めできる限り住み慣れた環境に近づけ、安心できる環境でグループホームでの生活に入っていけるように配慮している。信頼関係作りに努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	知人や友人・親戚、馴染みの店、主治医など、本人がこれまで付き合い合ってきたなじみの関係を大切にできるようにしている。外出の支援や電話・面会の支援を行い、いつでも快く出迎えするように心掛	面会は家族のみと思われがちであるが、友人の面会などもされている。知人・友人なども迎えられようようにしていく。		

				けている。協力を得ながら関係が継続できるように支援に努めている。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	プラン作成時だけでなく、日頃の本人との関わりの中から希望を聞き、感じ取り、思いを汲み取るようにしている。職員ひとりひとりが意識している。チーム内での情報共有に努めている。カンファレンスやC1-2シート等を活かし、本人の思い・気持ちや今後の関わり、対応につなげている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケアプラン作成時には、本人の言葉や思い、家族に要望を聞いたりと、医療関係者からの意見を入れると共に、職員の日々の関わりからの意見交換を行い、より個々の生活ニーズ、現状に即したプランを立案している。評価を行いご利用者の状況に合わせ6か月から1年で計画見直しをしています。変化時は随時計画を見直している。	ケアプランナーはご本人やご家族の希望なども聞いていて細かいプランを立てている。カンファレンスでも話し合えているので十分できていると思われる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人・家族様の意向を取り入れ関係者からの意見を取り入れることで、多角的に本人をとらえられると思います。ケアプランナーだけではなくチームとして本人の思いと共に現状に添って作成していくよう努めます。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の様子は個別記録に残し、職員全員で、把握・共有している。また、申し送りやカンファレンスでの話し合いから、計画の見直しにいかしている。C1-2シートについてもケアプランに活かしている。また、状態変化があれば、話し合い介護計画の見直しを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その時々ニーズにできる限りタイムリーにこたえられるように、「今までの生活はどうだったのだろうか」など考えて職員の意識統一を図っている。介護職としての専門性や、グループホームのメリットを活かし、そのときその時の状況に応じて対応できるチームを目指している。	職員個人の捉え方が違うのでチーム作りが難しい。ひとつのアプローチが人それぞれで多様、統一できていない。曖昧である。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議や回覧板にて情報収集に努めているが地域の行事などには参加できていない。公用車を使用して買い物に出かけたりコロナ禍が終わったのでできるだけ地域資源に対してアプローチを行っている。	近くのレストランでご家族とともに個別外出していたりメディカルフェスティバルにも参加していることでできていると思われる。GHばかりでなくドライブなど少しの外出でもできればと。皆さんの好きな物を考えなおしてみる。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時にかかりつけ医の選択ができることを伝えている。現在は全ご利用者が協力医の往診を月2回受けている。協力病院の専門科へ受診の場合は職員が付き添っている。急な体調変化時は、訪問看護へ相談指示をもらい対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	病院の相談員と情報の交換や共有を図り、状態を確認している。また、家族や本人の意向をふまえ、早期退院できるように努めている。相談員ともこまめに連絡をとり早期退院を目指している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	病院の相談員との交流の研修に参加しGHの対応可能な条件などを知ってもらう。知ってもらう事で円滑な退院や受け入れに繋がっていきたい。	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化の指針・看取り指針があり家族に説明している。終末期と診断された場合、本人や家族の希望をふまえ、できること・できないことを見極めながら、本人・家族・往診医・訪問看護師・職員で話し合いを行い、支援が可能と判断	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	往診や訪問看護とも連携できおり、GHだけでなく他職種連携でその人を支えるチームとして今後も支援していく。	

				できれば支援していく方針である。本人にとっての生活を大切に考えチームで支援している。			
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入職時及び定期的に全職員が普通救命講習を受け、対応できるようにしている。また、法人のマニュアルに従って対応を行っている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回の自主的な防災訓練を行い、年に2回は消防立会いのもとでの訓練を行っている。急な出勤で消防の立ち合いはなかったが、事例からの学び、避難方法や通報の仕方などを確認できる場を持ち、意識も高めている。災害についても防災意識を高め、地域の避難場所や行政の支援情報などの確認をしている。	コロナがあげ、消防隊員が来られる消防訓練が実施され、点検も行えている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者のペースでゆっくりとかかわり、アイコンタクトやジェスチャー、小声などひとりひとりに合った方法でさりげなくトイレ誘導をしたり、利用者の立場にたって、日ごろの言葉遣いやケアをカンファレンスで話し合い、尊厳やプライバシーの確保に努めている。職員同士の会話なども、個人のプライバシーに配慮している。不適切ケアについてのヒヤリハットで振り返りや職員間での共有を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	相手の立場に立ってということを職員全員が常に意識して対応していく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その日その日の個々のペースに応じてできる限り対応している。そのときの本人の希望や思いを尋ね、関わってけるように支援している。相手の立場に立って考えるように努めている。一人ひとり			

				のペースや希望にそった支援を心掛けているが、業務に追われていることもある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	できる人には包丁で野菜切りや盛り付けなどしてもらっている。することが難しい方も食事づくりが見える様に台所だけでなく、テーブルで皮むき・食材切り、盛り付けなどご利用者と共に行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	できることに目を向け、安全を確認しながら取り組んでもらっている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	往診医や訪問看護師と相談しながら体重管理をし、水分については好みを考慮したり形態を変えたり、介助しながらとってもらっている。法人内 ST と連携し食事形態等の検討も行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後歯磨きの声掛けや必要に応じてセッティング・見守りを行いながら本人の力に応じた口腔ケアをしている。また、希望者には1週間に1回の口腔ケアと月に2回の往診を受けてもらっている。口腔内の清潔保持や口腔内の状態を確認・情報共有・アドバイスを受けている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄の記録を確認しながら排泄のパターンを把握に努め、排泄のサインを見ながら声かけをし、不快感なく排泄ができるよう配慮している。介護度が重い人でも二人で介助しながらできるだけトイレでの排泄ができるようにしている。一人ひとりに合った支援方法や排泄用品の見直しを行いながら、トイレでの排泄が継続できるよう検討している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員がマンツーマンにて関わりゆつくりと安心して入ってもらえるように心がけている。時間帯や希望など、個々の利用者の希望に沿って出来る限り提供できるように努めている。入浴を断る方は原因を探り無理強いのないよう柔軟な対応をしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の体力やその日の体調や疲労状態など状況に合わせて声掛けを行い、安心して休息できるよう支援している。できる限り安心して眠っていただけるよう、室温や声かけ、環境、巡視時の対応等に留意している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は薬事情報に目を通し、理解に努めている。また服薬についてはマニュアルを作成し、その流れに添って支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の関わりのなかからや家族から情報を収集し、力を発揮できる場や役割を持ち、楽しみに繋げたり、気分転換できるように支援している。個々の得意な事を引き出し、継続できるよう日々生活の中に張り合いや喜びがあるように支援している。	ご家族の面会が少ない。年に2回ご家族も参加で食事会を開催している。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者の体調や希望に応じて郵便物を取りに行くことや、外への洗濯干しや施設敷地内の外気浴が日々できるよう努めている。また、買い物や 外食、自宅一時帰宅など、ご家族の協力をのもと個別外出の機会を作っている。個別外出では本人の行きたいところや行ってみたいところなど要望を聞いている。	買い物に行くにもドライバー1人、付き添いの職員1人、ご利用者1人といった2人の職員が必要になるため人員不足となり行けていない。ご利用者の「その時」の希望に答えられる努力をしていく。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ①あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的には、ホームにてお金を管理しているが、家族と相談のもと自身で管理している利用者もいる。また、買い物時は本人の想いで支払うことができるよう支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時には電話をしたり、家族からの電話をとりつぎ、やり取りができるように支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、季節に合わせた壁飾りや作品作り等を利用者と行い四季を感じていただけるような取り組みをしている。共有の空間では、くつろぎのスペースを考え、温度や音等についても配慮し、利用者個々の過ごし方に合わせて席や物の配置、ソファの位置などを工夫している。日々の掃除をし、定期的な換気など室温・湿気にも留意している。		①A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活のなかで希望を確認したり、二者選択など答えを出しやすい環境や機会をつくり、自己決定できるように支援している。伝える工夫をしながら関わりを行っている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ①ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりや本人や家族などから情報収集を行い、把握に努めている。職員の日々の関わりからの本人や家族の言葉や情報を共有しケア等のつなげるように努めている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一日一日の個々の状況や状態把握に努め、変化に早く気付けるように対応している。チームとして日々情報共有に努めている。訪問看護師や医師、訪問歯科等と連携を出来る限り図り、支援に努めている。C1-2シート等を活用し、本人の状態や思い、関わり、ケアにつなげている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その日その日の個々のペースを大切にできる限り対応している。そのときの本人の希望や思いを尋ね、希望やペースに添えるように努めている。相手の立場に立って考えるように努め一人ひとりのペースや希望にそった支援を心掛けている。日々の関わりやセンター方式を利用し、本人や家族などから情報収集を行い、把握に努め、今までの習慣等が継続できるように努めている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	使い慣れた生活用品や大切にされている家庭からなじみの家具などを持ち込んでもらったり、趣味や活動で制作した作品を飾ったり、家族との写真を飾ったりと、本人や家族と相談しながら、今までいた環境や本人の思う環境に近づけるよう、居心地の良い空間作りに努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	GHの生活がなじみの環境に近づけるよう工夫していきたい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の希望などに応じて出掛けたり、買い物へ行ったり、散歩をしたり等している。郵便物を取りに行くことや外での洗濯干し、家庭菜園プランターの管理、施設敷地内の外気浴や散歩等が日々できるよう努めている。	ご本人の体力や性格にもよる。催事に参加できているのでできていると思われる。交流参加の要望が多く出ている。新卒者も初めてのことで迷いが無いように伝えていくこと。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のできること・できないことの把握に努め、職員がやってしまうのではなく、できる限り、できることをしてもらい、できないところはさりげなく支援を行っている。自主的に行えるよう工夫し、役割などに繋げている。(洗濯物、掃除や新聞取り等)			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の生活で過ごす場所の工夫や居室以外にもほっこりできる空間を提供し、皆で過ごせる場所作り等に努めている。集まることで会話や関わりが生活の中で自然と生まれるように工夫している。レクリエーションへもできる方だけでなく、皆の輪に入って参加し一員であることが得られる等工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の散歩時等に挨拶を交わし、顔なじみの関係をご近所と作れるように努めている。また、町内会へ入会している。	駄菓子販売、神輿などの交流できていると思われる。運営推進会議の開催で参加のきっかけになっている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士の関係を把握しながら日々の会話や家事などお互いに関わり合いを持ち、利用者同士お互いが支えあったり、お互いをいたわりあえるような支援に努めている。生活を共に過ごす者同士、当たり前の関わりが出来る様、時に職員が間に入りながら自然に関わりが持てるよう支援している。	入居当初は心配であったが帰宅願望が減っている。ご利用者同士の関係性を築くことが難しい。職員が入りすぎず、離れすぎず努力すべきところである。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	も本人にとってよりよい生活が送れるように可能な限り意向に沿って希望がかなえられるよう努めていきたい。